

使ってみよう 電子処方せん -リフィル処方せん編-

リフィル処方せんとは？

症状が安定している患者に対して、医師の処方により医師及び薬剤師の適切な連携の下で、**一定期間内に、最大3回まで反復利用できる処方せん**です。

リフィル処方せんは、電子にするとこんなメリットが！

① 処方せんの保管がいらない！途中で処方せんをなくしてしまうことがなく安心！

紙のリフィル処方せんでは、調剤1回毎に、次回調剤予定日が記載された処方せんが返却されます。患者は、次回調剤時に、その処方せんを持参して薬を受け取ります。

マイナ保険証
または資格確認書/健康保険証+引換番号
だけでいいんだね！

電子処方せんを利用すると、処方せんの原本が紙からデータになるため、調剤1回毎に、**患者が処方せんの紙を薬局に持参すること、薬剤師が患者に処方せんを返却することが無くなります。**
そのため、2・3回目の調剤時に処方せんをなくしてしまう心配がなくなります。



② 次回調剤予定日を忘れても、マイナポータルから確認できる！

次の調剤予定日を忘れてしまっても、紙の処方せんを探すことなく、お手持ちのスマートフォンやPCでマイナポータルからいつでもどこでも確認できます。

手元で確認できるのは便利だね！



③ 調剤結果をリアルタイムで医療機関や他の薬局に共有でき、より安心・安全な医療を受けられる！

電子処方せん対応施設では、**調剤1回毎に調剤結果が登録されます。**その情報がリアルタイムで他の医療機関や薬局にも共有でき、医師・薬剤師が他のお薬の処方・調剤をする際に確認できます。

そのため、**飲み合わせの悪い薬の服用や同じ効き目のある薬を必要以上に服用してしまうことの防止に繋がります。**

患者にとって安心だね！

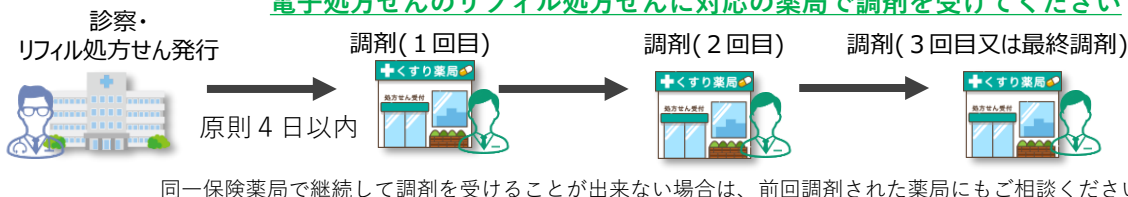


電子処方せんにするとこう変わる！

	紙処方せん	電子処方せん
①	調剤1回毎に処方せんを持参。次回調剤予定日まで患者が処方せんを保管。	処方せんは電子処方せんのシステムに保存されているから、患者は処方せんを持参・保管しなくてOK！
②	次回調剤予定日は処方せんをみて確認	マイナポータルからもいつでもどこでも確認できる！
③	最終調剤後、薬局が処方せんを紙で保存	データで保存するので、災害時にも服用中の薬を確認できて安心！



電子処方せんのリフィル処方せんに対応の薬局で調剤を受けてください



リフィル処方せんの留意点

- 医師が患者の病状等を踏まえ、個別に投与期間を判断します。(最大3回まで)
- 投薬量に限度が定められている医薬品及び湿布薬は、リフィルによる処方できません。
- 薬剤師から、体調や服薬状況の確認のため、同一の保険薬局で調剤を受けることを勧める説明をすることがあります。
- 薬剤師から、次回の調剤予定の確認、予定される時期に患者が来局しない場合は、電話等により状況を確認することがあります。
- また、患者が他の薬局において調剤を受ける場合は、当該薬局に調剤の状況とともに必要な情報をあらかじめ提供することがあります。
- 患者の体調変化を考慮し、リフィル処方せんの有効期間内であっても、薬剤師は、調剤を行わず患者に受診を勧め、処方医へ情報提供することがあります。

このポスターとマークが目印です

